



指導案

ピンチ！意見が対立 ～話し合う②～

1 学習のねらい

自分とは違う考えを尊重することの大切さに気づく。

お互いの考えの共通点や相違点を見つけ、論理的に話し合いを行うためのスキルを学ぶ。

2 番組活用にあたって

意見が対立することは、学校生活の中ではよく起こります。行事の内容やゲームのやり方など、子どもたちの興味関心と結びついているものほど、あからさまな対立になります。多くの場合は、多数決で解決しようとするのですが、番組では多数決ではなく、内容を吟味する方法を提案しています。

互いに違う考えをもっている場合、相手の意見のよいところを見つけるのは、難しいことですが、そのような考え方をすることによって、客観的な考え方を育てることをねらっています。

番組では、第3回「意見を言おう」のスキル『田の字チャート』を使って意見の整理をします。今回は、自分とは違う立場のいいところを見つけるようにします。立場を換えて考えることは視点を変換させることになり、固まった思考を柔らかくするのに役立ちます。

グローバルな社会で生きていくこれからの子どもたちに、ぜひ身につけたい力です。

3 指導の流れ

① 意見が2つに分かれてまとまらなかったことはありませんか。

- ・お楽しみ会で「ドッジボール」をやるか、「サッカー」をやるかでけんかになりそうだった。
- ・親子料理会で作る時に、「ホットケーキ」か「サンドイッチ」かでなかなか決まらなかった。



② サトルたちは、どんな風にして決めるのかな。番組を見てみよう。

1. 番組を視聴する。
2. 『田の字チャート』と付箋を使った意見の整理の仕方をscene03を提示しながら、確かめる。
3. 対立する意見のいいところを見つける。
4. 心配なところについての話し合いを確認する。
5. 対立した時には、お互いのいいところと心配なところについての話し合いをする。



③ 付箋を使って意見を整理する方法をやってみよう

1. 話題を決める（練習なので、簡単な話題の方がよい）
例：「掃除場所はずっと同じか、1日交代か」「水筒の中身は、スポーツドリンクかお茶か」
2. 自分の立場を決める。
3. 田の字チャートを作って、グループになって話し合う。
4. 相手の考えのいいところを見つける。
5. それぞれの考えの心配なところについて話し合う。



④ 相手の考えを尊重する考え方をしてみた感想を発表しよう。

- ・ただ言い争っているとけんかになるけれど、ちゃんと整理した方が考えがよく分かる。
- ・いいところと心配なところを見ていく方法は、いろいろな勉強に使えるかな。